

日持ち性向上生産管理チェックシート ～トルコギキョウ版～

- ◆日持ち性向上のために、生産から出荷まで注意すべきポイントをまとめたチェックシートです。
- ◆各チェックポイントごとに管理技術の基準を設定しており、この基準をひとつひとつ確認し、実践することが日持ち性向上につながります。

項目	チェックポイント	基準	判定
栽培管理	1 ほ場衛生	除草・清掃をする	
	2 灌水・肥培管理	適切に灌水・施肥し、多肥を避ける	
	3 温度管理	高温を避け適切に管理する（日中25℃目安）	
	4 換気	適切に換気をし、湿度を下げる	
	5 光環境	被覆資材の更新、洗浄で十分な光量を確保する	
	6 芽と枝の整理	不要な芽と枝を整理する	
採花	7 採花	早朝の気温の低い時間に採花する	
	8 前処理までの保管	速やかに前処理に移行する	
前処理	9 前処理マニュアル	前処理マニュアルを作成し、遵守する	
	10 前処理場所	7℃以上の冷蔵庫または冷暗所	
	11 前処理剤	適切な前処理剤を使用する	
	12 前処理剤の交換	一部の殺菌剤を除き、毎回必要量を調整する	
	13 前処理液の吸収量チェック	季節ごとに吸収量を調査する	
	14 容器の洗浄	前処理剤の交換ごとに洗浄する	
冷蔵庫	15 冷蔵庫の殺菌	年に一度、燻煙剤、塩素剤で殺菌	
作業場・選花場	16 清掃	清掃を徹底する	
	17 室温	25℃以下でできるだけ低く	
ハサミ	18 定期的な洗浄	ハサミは除菌できる洗剤で洗う	
出荷までの保管	19 温度	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所	
滞留時間	20 採花から出荷までの時間	3日以内（低温で保管できない場合には24時間以内）	
出荷までの輸送	21 温度・雨	直射日光・雨に当てない（1時間を超える場合には15℃以下）	
採花日等履歴	22 採花日・出荷日の記録	採花日・出荷日を記録する	

※チェックポイントの基準に適合している項目には、判定の欄に「○」を記入。「○」の数が20個以上を目標とする。

※本資料は「令和元年度次世代国産花き産業確立推進事業」を活用して作成しました。

令和2年3月
青森県花のくにづくり推進協議会
(事務局：青森県農林水産部農産園芸課)

トルコギキョウの日持ち性向上に向けた 生産管理のポイント

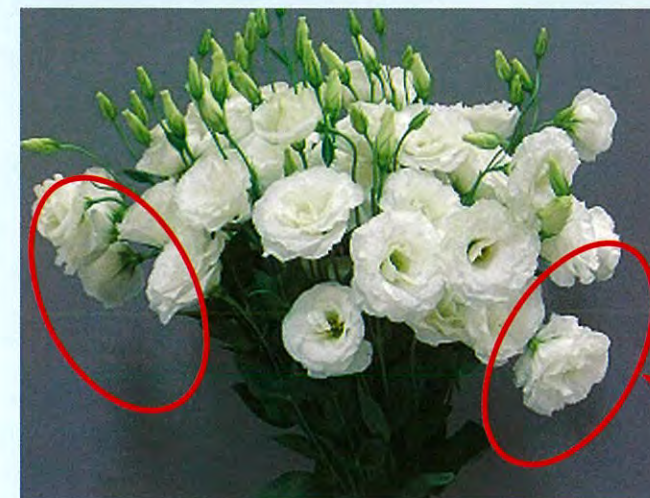
はじめに

- 青森県のトルコギキョウは、夏季冷涼な気候で生産されることにより、「色鮮やかで日持ち性が良い」という評価を得ています。
- 一方、消費者からは「鑑賞期間が長い（日持ち性が良い）花が欲しい」という要望が高まっています。
- 本県の強みである「夏秋期の生産」を強化するため、日持ち性向上に向けた生産管理のポイントを確認し、その実践に努めましょう。

日持ち性低下の症状と主な要因

管理項目	症状	主な要因
ほ場の衛生	病害虫の被害	・防除適期を逃している ・ほ場周辺の環境（雑草防除の不徹底等）
採花の時間	花や茎葉のしおれ 水揚げしにくい	・切り花の品温上昇
器具の衛生	花や茎葉のしおれ	・バクテリア（細菌）による導管（水の通路）の詰まり
前処理剤	落花・花のしおれ	・エチレンによる老化
	つぼみが開花しない	・糖質の不足

症状例（花弁の軟化・しおれ）



しおれの原因は？
バケツ？
前処理剤？

生きて2日目で、
しおれ症状が発生

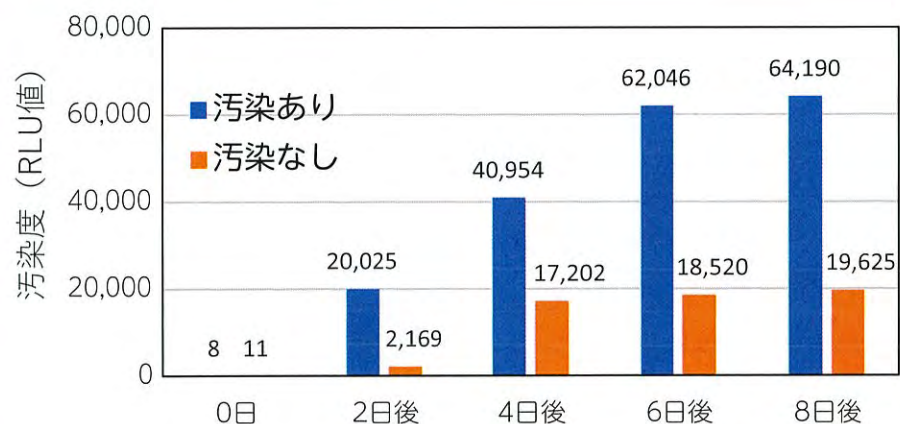


バクテリア(細菌)がトルコギキョウの日持ち性に及ぼす影響

- ◆日持ち性の低下は栽培管理だけでなく、管理作業のちょっとした不注意で発生します。
- ◆トルコギキョウの前処理に使用するバケツが、バクテリアに汚染されていた場合、次のような影響により、日持ち性が低下します。



1 生け水に及ぼす影響



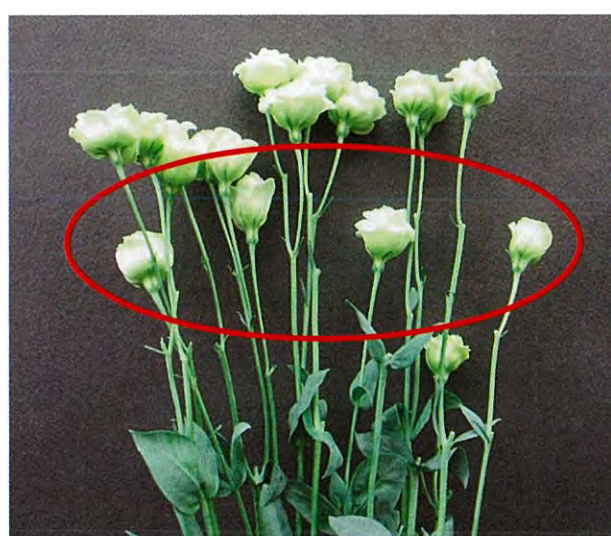
- 汚染バケツで前処理したトルコギキョウを水道水入りの花筒に挿し、生け水の汚染経過を測定。「汚染あり」の生け水はバクテリア濃度が短期間で増加。
- ➔導管(水の通路)が詰まり、しおれが発生しやすくなります

2 日持ち性に及ぼす影響

- 水道水を1日おきに交換し、しおれた花を除去して、切り戻ししても、しおれが回復しなくなる時期まで観察(室温25℃・湿度60%)。
- ➔汚染ありの場合、しおれが多く発生したため、開花輪数が少なく(写真右の赤で囲んだ部分)、日持ちは汚染なしより2日短くなりました。



汚染なし 日持ち **9.8日**



汚染あり 日持ち **7.8日**

※採花8日後の状況(令和元年8月21日採花)、品種:ミンクグリーン
 ※1、2ともR元年(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所データによる

生産から出荷まで適切に管理した場合の日持ち性

- ◆日持ち性の向上には、栽培管理だけでなく、採花後の管理や作業場の清掃といった管理作業を適切に行うことが必要です。
- ◆ここでは、生産から出荷までの一連の管理が適切に行われた現地のトルコギキョウの日持ち性について紹介します。

1 生産管理が適切に行われたトルコギキョウの日持ち性

- 施肥かん水・温度管理などの栽培管理や前処理などが適切に行われた現地のトルコギキョウを温度25℃・湿度60%の条件で日持ち性を観察。
- ➔しおれが発生することなく、つぼみが順調に開花し(写真の赤丸の囲み部分)、日持ちは17日間と長期間の鑑賞が可能でした。



※品種:F1ブルーティー、R元年(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所データによる

日持ち性向上のための生産管理のポイント

- ◆日持ち性向上に向け、次のような管理を確実に行うことが重要です。



栽培管理	採花	前処理	出荷
<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場の除草・清掃 ・適切なかん水・肥培管理 ・換気による温湿度管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の低い時間帯に行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・バケツやハサミの洗浄 ・適切な前処理剤の選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・滞留時間を短く ・冷所での保管 ・履歴の記録